

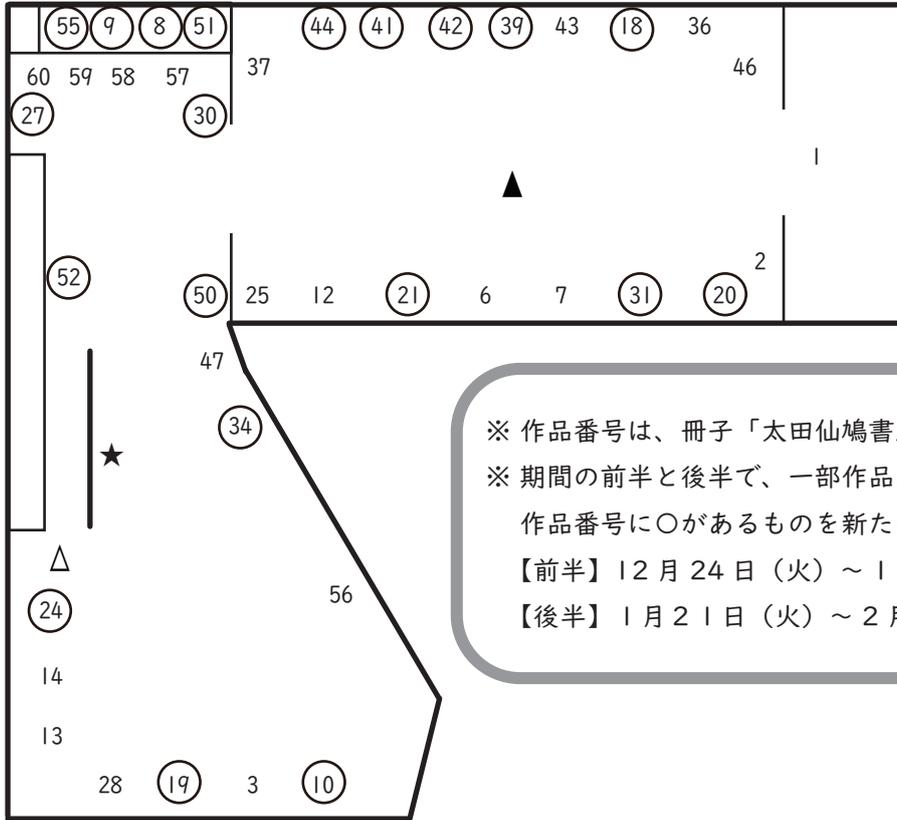
おたせんきゅう

## 太田仙鳩書展

高松市  
塩江美術館  
開館30周年記念

## —あなたの心に書を届けたい—

【期 間】令和6年12月24日(火)～令和7年2月9日(日)



※ 作品番号は、冊子「太田仙鳩書展—作品解説—」に統一しています。  
 ※ 期間の前半と後半で、一部作品の入れ替えを行い、  
 作品番号に○があるものを新たに展示しました。  
 【前半】12月24日(火)～1月19日(日)  
 【後半】1月21日(火)～2月9日(日)

★ 御協賛いただきました花待草舎 美澤宗包(茶道表千家流)氏が所蔵されております「藤澤南岳書『和陶帰去来辞』屏風」を展示しております。本展出品作家である太田仙鳩が解説した解説パネルとあわせて御高覧下さい。

## 太田仙鳩(書家/徳島県)

1960年 長野県生まれ。

本名、太田 剛(おたつよし)。大学卒業後に長野県の中学校で国語を7年間指導後、福岡教育大学大学院にて朝鮮半島書道史を研究。更に高校で書道を指導すること14年間。

2007年から四国大学文学部書道文化学科で教鞭を執り今年で18年目。人々の書道文化への敷居の高さを低くすることを目指し、地域の身近な書道資料の解説や、書を用いた学生の地域活動の指導に取り組む。

香川県の近世・近代の学者の書の解説にも取り組んでおり、高松の菊池黄山・後藤芝山・柴野栗山・中山城山・片山冲堂、塩江出身の藤澤東暎・南岳、三木町の神内喬木、さぬき市の細川林谷なども研究対象である。

書の制作では公募展には出品せず、一般の人々が言葉の内容や文字造型を楽しみながら鑑賞できることを重視し、漢字・かな以外の素材も積極的に用いて、現代における書道表現の幅や可能性を更に広げようと挑戦している。

No.	タイトル	制作年	(冊子掲載ページ)
⑩	「薬食同源」	2024	(3)
3	一字書「地」	2016	(1)
⑬	柴野栗山から菊池黄山への贈詩「詠老松祝古稀」	2018	(6)
28	パスツールの言葉	2021	(10)
13	藤澤南岳の語「知天地之恩」	2010	(4)
14	甲骨文「瀧」	2016	(4)
⑭	細川林谷「名位瀑布詩」	2024	(8)
⑮	最澄の言葉	2019	(17)
⑯	『西郷南洲遺訓』第七	2009	(9)
⑳	薬師如来の梵字と真言	2023	(18)
㉑	ろうけつの書「大安楽」	2017	(3)
㉒	「真水無香」	2020	(3)
㉓	『いろはかるた』より	2010	(17)
60	陶芸書 時計「龍」(甲骨文)	2019	(19)
59	陶芸書 鼎皿「風」	2018	(19)
58	新年の挨拶	2015	(19)
57	家は上向きの矢印	2014	(19)
⑳	『山家鳥虫歌』より(都々逸)	2008	(10)
37	Kohrinの詩「ようかんという名の猫2」	2023	(13)
⑳	ナスカの地上絵「手」	2014	(15)
㉑	ハングル書芸「幸福論」	2019	(14)
㉒	臨 岩雲花香 神代文字碑「鯨の歌」	2018	(14)
⑳	ハングル書芸「明けない夜はない」	2011	(13)
43	世界の「ありがとう」	2012	(14)
⑳	後藤芝山の詩「贈朝鮮通信使金仁謙」	2017	(6)
36	自作の詩「海へ行く」	2007	(12)
46	ナスカの地上絵「生命の樹」	2019	(16)
1	渦紋(弥生時代の銅鐸)	2011	(1)
2	連続渦紋(弥生時代の銅鐸)	2019	(1)
⑳	『神内喬木文集』より	2015	(7)
㉑	澤庵禅師の言葉	2010	(11)
7	『李嶠詩』の語「鳳舞」	2023	(2)
6	ろうけつの書「静」	2022	(2)
㉒	井上春洋『亜墨竹枝』より	2014	(7)
12	『老子』の語「善戦者不怒」	2020	(4)
25	自作の句「逆風も反転すれば追風となる」	2024	(9)
⑳	愛新覚羅溥傑の言葉	2015	(17)
47	ナスカの地上絵「鯨」	2023	(16)
⑳	チャーチルの言葉	2017	(11)
56	Open the door	2024	(18)

△「臨 巖谷一六書「阿波じら布碑」の銘 屏風」と▲ナスカの地上絵「ハチドリ」と「コンドル」は、冊子「太田仙鳩書展—作品解説—」未掲載の作品です。